

状 況 写 真

区 分	自 主
-----	-----

武 雄 営 林 署

(様 式 6)

小径木保残区域内プロット写真

プロット No 1
面積 0.0 / ㌸a

プロット No 2
面積 0.0 / ㌸a



状 況 写 真

区分 自主

武 雄 営 林 署

(様式6)

皆伐区域内 プロット写真

プロット No 3
面積 0.01 ㏊



プロット No 4
面積 0.01 ㏊



平成4年 技術開発実施報告

様式 2

武雄 宮林署

課題	広葉樹天然林の更新方法について					
継続・新規	担	造林課	開 発 箇 所	武 雄	開 発 期 間	昭和61年度
指示・自主 任意	当					平成7年度
年度別実施経過			4年度 実施報告			
			1 プロット内林況調査			
			(1)保残木樹種別本数樹高調査 (2)稚樹, ぼう芽発生調査 (3)クズ発芽侵入調査			

試験経過記録

区分 自主

武雄 宮林署

(様式4)

1 プロット内林況調査

(1) 保残木樹種別本数樹高調査

プロット	樹種	胸高径 4 cm 以上				胸高径 4 cm 以上				備考
		本数	平均根元径	平均胸高径	平均樹高	本数	平均根元径	平均胸高径	平均樹高	
No1	モチノキ	3	5.9	4	3	1	4.5	3	3	
	ヤブツバキ	7	5.7	5	5	2	3.3	3	3	
	サザンカ	1	5.2	4	4	12	4.1	3	2	
	ヒサカキ	3	6.2	5	4	2	4.2	3	2	
	シキミ					1	3.9	3	2	
	イヌガシ					1	3.4	2	2	
	計	14				19				
No2	ヤブツバキ	4	3.5	6	5					
	サザンカ	3	6.2	5	5	8	2.7	2	2	
	シキミ					1	2.8	3	2	
	イヌガシ					1	2.8	2	1	
	計	7				10				

(2) 稚樹・ぼう芽発生調査
表I・IIのとおり

(3) クズ発芽侵入調査
発芽侵入なし

記載要領 1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

試験経過記録

区分 自主

武雄 営林署

(様式4)

表-I 稚樹発生調査表

プロット 項目 樹種	N o 1			N o 2			N o 3			N o 4		
	本数 (本)	平均樹高 (cm)	ha当本数 (本)	本数 (本)	平均樹高 (cm)	ha当本数 (本)	本数	平均樹高	ha当本数	本数	平均樹高	ha当本数
タブノキ	1	150	100							1	200	100
イタジイ				1	130	100						
有用広葉樹	1		100	1		100				1		100
イヌガヤ										5	92	500
サザンカ	19	126	1,900	25	97	2,500	10	102	1,000	18	114	1,800
ヤブツバキ	11	147	1,620	6	147	600	1	150	100	11	145	1,100
ハイノキ	12	130	1,200				6	97	600			
イヌガシ	4	93	400	7	83	700	6	105	600	10	83	1,000
ヤブニッケイ	4	192	400	16	109	1,600	2	200	200	3	123	300
アオモジ				11	287	1,100	7	236	700	16	266	1,600
ネズミモチ				7	156	700	5	176	500	20	169	2,000
シキミ	1	172	100	1	200	200	3	49	300	5	74	500
ヒサカキ	3	190	300							3	103	300
クロキ	1	270	100							2	35	200
イヌツゲ										2	105	200
その他							7	167	700			
非有用広葉樹	55		5,500	73		7,300	47		4,700	95		9,500
合計	56		5,600	74		7,400	47		4,700	96		9,600

記載要領 1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

試験経過記録

区分 自主

武雄 宮林署

(様式4)

表-Ⅱ ぼう芽発生調査表

プロット 項目 樹種	N o 1			N o 2			N o 3			N o 4		
	本数	平均樹高	ha当本数	本数	平均樹高	ha当本数	本数	平均樹高	ha当本数	本数	平均樹高	ha当本数
	(本)	(cm)	(本)	(本)	(cm)	(本)	(本)	(cm)	(本)	(本)	(cm)	(本)
タブノキ				14	186	1,400	15	201	1,500	10	202	1,000
アカガシ	16	195	1,600	7	194	700	14	192	1,400	23	161	2,300
ウラジロガシ	10	197	1,000									
カエデ										7	160	700
有用樹計	26		2,600	21		2,100	29		2,900	40		4,000
ヤブニッケイ	26	191	2,600	17	154	1,700				12	160	1,200
ヤブツバキ	5	198	500	6	215	600	5	152	500	14	191	1,400
サザンカ	16	105	1,600	20	123	2,000	41	134	4,100	19	92	1,900
クロキ	3	163	300	3	173	300						
イヌガシ	7	207	700	13	186	1,300	3	123	300	10	172	1,000
ネズミモチ	7	229	700	11	146	1,100	11	198	1,100	19	151	1,900
シキミ				6	91	600						
サンゴジュ				2	175	200						
シロダモ				12	169	1,200	1	170	100			
エゴノキ				3	167	300						
ヒサカキ										16	109	1,600
サカキ										23	120	2,300
その他	5	112	500				70	100	7,000	4	145	400
非有用樹計	59		5,900	93		9,300	131		13,100	120		12,000
合計	95		9,500	114		11,400	160		16,000	157		15,700

試験経過記録

区分 自主

武雄 営林署

(様式4)

2 考察

当該箇所は、試験地設定後6年経過している。前回調査時点同様草木類（アオモジ、特にススキ等）の侵入が多く、このため被圧による稚樹の枯損が見られた。小径木保残木についても枯損・半枯損が多く見られる。残存している有用樹は、ぼう芽箇所には一部タブ・アカガシが、見られるものの稚樹発生調査箇所には皆無の状態である。ha当りの生立本数も少なく、残存する有用樹の形質、成長も悪くこのまま試験調査を継続しても目的とする成果は得られる見込みがないので、4年度実施報告をもって終了する。

状 況 写 真

区 分	自 主
-----	-----

武 雄 営 林 署

(様 式 6)

小径木保残区域
面積0.25ha

皆 伐 区 域
面積0.25ha

